

今日のわだい

- [1面] しっかり休める職場作ろう 高まる「反・脱原発」の声
- [2面] 看護師集会分科会報告、他
- [3面] お仕事探検隊①広島

# 全厚労ニュース

全国労働組合連合会  
厚生連

〒110-0013 東京都台東区入谷 1-9-5  
TEL 03-3874-3591  
FAX 03-3874-3593  
発行日 毎月 20日  
定価 30円

## 【看護職場改善・労基法違反一掃月間】

# しっかり休める職場をつくる

「マンガで学ぶ」看護職場の改善と労働者の権利」を活用しよう

全厚労は、この秋闘を「看護職場改善・労基法違反一掃月間」として取り組みを呼びかけています。11月2日に行われた中央執行委員会でも、「どうしたら看護職等医療従事者は辞めないで働き続けられるのか」を議論しました。

重点目標としては6項目  
①夜勤問題、②サービスクル業、③委員会・研修、④有給休暇、⑤育児支援、⑥メンタルヘルス」を掲げており、いずれも重要な課題ですが、特に日々の疲労が回復できないような日常の休みがきちんと取れることや長期連休を使えることが、今働いている病院で働きたい、仕事へのモチベーションを生むのではないかと意見が多くを占めました。

各県でも長期連休での有休取得制度の創設・推進や休みの取りやすさ、委員会等を含めた時間外の改善が要求として掲げられています。この秋闘で職場からの要求として大きく声を上げていきたいと思います。

全厚労では、この通常号と合わせて「マンガで学ぶ」看護職場の改善と労働者の権利」というタブロイドニュースを作成しました。ぜひ職場に広めて働き続けられる職場を作っていきたいと思います。



国会前は人・人・人で身動き取れない状態に(連合通信社提供)

震災から1年8カ月となった11月11日、「再稼働反対」「原発ゼロ」を求める集会や行動が全国各地で展開されました。東京では、毎週金曜日の官邸前行動を続けている首都圏反原発連合(反原連)が主催する「反原発1000000人大占拠」が行われました。国民の反原発・脱原発の声は途切れなく続いています。

当初、午後1時から予定されていたデモは、東京都日比谷公園の使用許可が出さず東京地裁・高裁も申し立てを却下したため中止に。「表現の自由」をめぐり、東京電力やJパワー前でも

抗議行動が行われ、夕方から降り出した雨の中で続々と国会議事堂前に参加者が集まり始めました。国会前スピーチでは、「東京から脱原発を進めろ」「人にやさしい都政に」と都知事選に立候補した宇都宮健児弁護士の訴えに大きな激励が寄せられていました。歩道や公園に溢れた参加者らは「再稼働反対」「大飯を止めろ」「活断層ごまかすな」「子どもを守れ」などと力強くコールを続けていました。

また4日に行われた「もやもやふっとばしますカッ! 福島青年大集会2012」には福厚労5名の仲間も参加し、福島に住む青年や学生たちが持つ悩みや不安をどうしたら解決できるのか、全国から集



横断幕を持って「さよなら原発」を訴える



11月4日、福島青年大集会と参加した福厚労の仲間

### 全厚労本部・書記募集

これからの全厚労運動を担う人材を求めます。

採用人員 1名  
勤務地 東京都台東区・全厚労本部  
労働条件 組合規定による  
業務内容 ①各種会議・集会の準備・運営、資料作成  
②全厚労ニュース、宣伝物等の作成  
③その他、書記局業務全般

募集要件 (優遇)  
①医療労働運動に情熱ある方  
②労働組合役員経験者(青年部含)  
③PCソフト操作に長けた方

応募書類 履歴書、志望動機書(800字程度)、健康診断書  
応募締切 12月末日(当日消印有効)までに郵送  
面接日時 追って連絡  
問合先 全厚労本部(松尾)電話又はメールにて

メール matsuo@zenkouro.org

全国で高まる反原発・脱原発の声

10月の幹部・看護師集会では大きく3つの分科会に分かれて討論しました。第1分科会の一つと第2分科会からの報告を掲載します。

## 有給休暇・リフレッシュ休暇を使ってモチベーションアップを



レジメに沿って問題点を討論

第1分科会では、「働きやすい職場づくり」をメインテーマにしながら、私たちの会場では5つのグループに分かれ、「有休取得・リフレッシュ休暇」についてのディスカッションを行いました。愚痴は無しにして、前向き・プラス志向に話し合いを行い、今後どうすべきかを話し合ってもらったため、事前に看護委員でどういった内容・どういうタイムスケジュールで進行するかを決めました。そこからレジメを作成し、各グループへ配布しました。その成果もあり、今回の分科会ではスムーズな進行になっ

たと思います。

各県バラバラでグループを振り分けているため、まずは自県がどういった状況であるかディスカッションを行いました。もちろん各県で状況は異なり、良い意味でも悪い意味でも刺激になったと思います。有給休暇・リフレッシュ休暇について各県での制度は異なり、休暇というものの捉え方も個人で異なっていました。今回の集会で配布された冊子を元に自県の休暇について現状の見直しを行ったことで、「自分が思っている制度」と「決められている制度」の違いを知る良い機会になったと思います。

長期の休暇や連続休暇があったら何をするかということについて話し合うと、独身の人は出掛けたり、家庭を持っていない人は家族とゆっくり過ごすなど、個々によっても休暇の使い方は様々でした。しかし連続した休暇を取ることで、リフレッシュでき、

自己のモチベーションも上がり「また明日から頑張ろう」という気分になる」といった声は多かったように感じます。結果、今回のディスカッションで、スタッフ全員が平等に休暇を取るためのには、休んだ人の分までカバーできるほどの人材が必要であるということが分かりました。忙しさから離職したり、体を壊したり、休息できない環境が背景にあることが、とても悪循環であると感じました。人材を確保することで、働きやすさを取りやすい職場になるのではないかと思います。そのためにも、自分の病院ではこれだけの有休消化率があり、なおかつリフレッシュ休暇も確保できているという実績があれば、新しい職員を迎えるための病院の売りにも繋がるのではないかと思います。

集会2日目の今泉清保さんの講演でもありましたが、自分の健康と生活を守るために、自分自身も休むことも必要です。山厚労 宇野早苗



休暇の活用で話も盛り上がる

ことが大切だと、改めて実感することができました。私達の仕事は対人関係であり、たくさん命を守らなければならぬ重要な職です。心身に疲労をきたし、酷使してまで仕事をする人、患者は自分の体を預けようとは思わないでしょう。毎日、楽しく笑顔で仕事ができるように現状をしっかりと把握し、改善すべき点は声を上げていかなければなりません。自分達の職場環境を良くする為にも、自分達で行動を示すことが今回の課題なのではないかと思えました。

山厚労 宇野早苗

最後に今後について定年まで働き続けるためにはどうしたらいいかを考え、各グループに発表してもらいました。そこでは

## 夜勤の有害性を認識して、夜勤協定守り負担を減らすことが大切

第2分科会では、「夜勤協定、夜勤制限」について話し合いました。初めに各グループの自己紹介も兼ね

替ミックスの勤務があり、県によっては夜勤回数が14回というところや、夜勤のシステムを選べたり、夜勤専従などの体制をとっているところもあることが分かりました。さらに夜勤中に十分に休息が取れない、日勤・深夜という勤務があり、勤務間隔が12時間以上確保できないという意見もあり、中には年齢によつて夜勤が免除されているという県もありました。次に夜勤協定について意見を述べてもらいました。ほとんどの県・支部が夜勤協定を結んでいるのですが、夜勤協定を認識していない、さらに結んでいるか知らないという人もいました。また夜勤協定が、実際にはほとんど守られていないのが現状であることも明らかになりました。夜勤の有害性については特別報告でもありましたが、有害性について理解できていない人が多い、特に新人・若い人が有害性を感じていないことが明らかにになりました。新人の夜勤回数が多く、自分達で行動する為にも、自分達で行動を示すことが今回の課題なのではないかと思えました。

新人も含め夜勤の有害性を十分知ってもらうという意見が共通して挙げられました。今後は看護委員会や病棟訪問などで各部署の夜勤回数やその他夜勤問題を収集することから始めていく。さらに夜勤協定を知ること、夜勤回数や夜勤の条件がどれくらい守られているかを

いかを知った上で、声を出して会側へ伝えていくことが大切。勉強会などを行い、みんなで知り、夜勤協定を守ってもらうように努力する、などが考えられると思います。夜勤回数でも、新人は金銭面や負担に耐えられることから夜勤を好む傾向にあり、こちらも勉強会などを

行い、全職員に夜勤の有害性を十分に知ってもらう必要があります。自分の身体は自分で守ることを大切に考えていかなければならなりません。また定年まで働くには、年齢に応じて夜勤回数を減らす、免除するなどの工夫・見直しが必要と考えられます。香厚労 井上俊介

## 住民が支える地域医療目指し懇談会



住民からの意見も活発に出されたシンポジウム

11月11日、長野県佐久市にて、「第3回川西地域医療懇談会」が開かれ、100名を超える地元住民が集まりました。この懇談会は、地域に存在する川西日赤、浅間病院、小諸厚生、佐久総合、千曲病院と佐久市役所の労働組合が実行委員会形式で行ったもの。始まりは3年前に川西日赤が本社からの「3年連続赤字であれば廃止」との方針に、周辺病院から、「いま一つでも病院をなくせば、地域医療がパンクす



骨密度・血糖検査などで健康チェック

る」と危機感が出た中で、地区労連のつながりを活かして話し合いをやってきたことでした。いま川西日赤では自治体の働きもあり特別交付税措置を受け、数年後の医師確保の見直しも立ちつつあります。懇談会では川西日赤院長や市議会議員、JA佐久浅間生活部長、群馬・大戸診療所の今野義雄さんと呼んでのシンポジウムの他、各グループで準備した健康相談コーナーをスタンダード形式で行い、住民の方々には好評でした。

# 知って得々！労働組合 第7回

**問**  
労働組合法が労働者に保障している「労働三権」で間違っているのは？

**答え**  
A 団結権  
B 団体交渉権  
C 団体運動権  
(答えは4面下に)

労働組合法は、  
①労働者が使用者と対等な立場に立つことを促進することにより労働者の地位を向上させること。  
②労働者が使用者と交渉するために自分たちの手で労働組合に団結することを擁護すること。  
③労働者が使用者と「労働協約」を結ぶために行う団体交渉が円滑に進むように手助けすること。

てなしたる行為はこれを罰せず」とした刑法第25条を適用し、組合運動に警察権力が介入できないようになっていきます(刑事免責・労組法第1条)。団体交渉で組合代表が激しい口調で回答を迫っても、またストライキなどで会社に損害があっても、脅迫罪や威力業務妨害として警察が介入することはできません(暴力行為などはもちろん違法です)。

また労働組合のストライキ等によって、会社に損害が生じても、使用者は労働組合や労働組合員に損害賠償を請求することはできません(民事免責・労組法第8条)。

例えば「プロ野球選手会」には社団法人と労働組合の2つの顔があります。2004年に球団の経営難でセ・パ12チームの「10チーム・リーグ化」構想が出たことがありました。当時、選手会(古田敦也選手会長)は、「球団合併は選手の雇用と労働条件の問題である(※野球協約で1チームの選手枠が決まっているため、2チーム分の雇用が消える)」と、使用者側の日本野球機構と球団存続に向け交渉を行いましたが決裂、2日間の試合でストライキを実施しました。日本野球機構は「球団合併は経営事項であり、ストするならば損害賠償請求する」との考えを示していましたが、選手会がスト前に行った申し立てで東京地裁・高裁は「組合員の労働条件に関わる部分は義務的な団体交渉事項である」として、選手会の言い分を認めました。(注：全厚労版「労働者の権利と基礎知識P6」の「豆知識」の記載が間違っており、上記内容に訂正します)

ですから労働組合法は、「労働三権」以外にも多くの特典を労働組合に与えています。労働組合の団体交渉やストライキなどの活動には、「正当な業務によっ

てなしたる行為はこれを罰せず」とした刑法第25条を適用し、組合運動に警察権力が介入できないようになっていきます(刑事免責・労組法第1条)。



## おしごと探検隊 11 JA広島厚生連 吉田総合病院

### 介護のお仕事

今回のおしごと探検隊は、「介護」をクローズアップしました。介護の現場は、人員不足や低賃金、低い介護報酬、介護保険の問題と、矛盾を抱えながらも、安全・安心の介護を提供すべく取り組んでいます。今回は、僻地で頑張る吉田総合病院の療養病棟と併設されている老人保健施設のぞみを訪問しました。



います。近隣に療養型の施設がなく、広島県北部地域での受け皿的存在となっております。

看護職13名、介護職14名のスタッフが、リハビリや言語療法士など他職種と連携して、急性期病棟から移ってこられた患者の方々に、早期の自宅復帰を目指して自立支援を行っています。

嚥下・排泄といった機能の維持向上を図り、意思疎通に配慮したケアを行います。

違った診療科から来られた患者さん同士が、それぞれの体験に刺激を受けプラスになる部分もあるといえます。

病院としては、療養病棟を持つことで、急性期のバックアップができ、安心につながります。整形からの患者も多く、在院日数は、比較的短いそうです。

月1回の研修会ではテーマをみんなで考えてそこから選定しています。

レスにならない工夫をしています。認知症の方も多くなっています。徘徊は、ある程度一緒について歩くと落ちつく様です。

生活環境の整備に努め、明るく家庭的な雰囲気の中で、食事、排泄入浴、移動が出来るようにしています。入浴では季節を感じてもらえるようにと、季節で入浴剤を変えていくと好評です。

節分、お花見、ひな祭り、七夕、クリスマス会、様々なイベントも実施されています。また、秋には病院祭と同時に「のぞみ祭」を行っています。

地域との関わりでは吉田小学校4年生約60名が総合学習として、



笑顔たやすりハピリに当たるスタッフのみなさん

#### ●立地

病院があるのは、広島県北部の安芸高田市。人口は約3万1千人(1万1千世帯)で、高齢化率は33・6%です。

病院は、JR広島から電車で1時間10分程、最寄りの向原駅からタクシーで10分程の所にあります。

#### ●療養病棟

病院5階にある療養病棟は、54床です。平成11年から運用されて

#### ●老健施設

要介護状態と認定された利用者の方々に、自立した日常生活を営むことが出来るように支援し、また、居宅における復帰をめざします。高齢者の尊厳を守ることも意識しています。

入所の部分は、30名定員です。その人にあつたケアを探り、スト



老健ではクリスマス会に向けて準備をしていました



吉田総合病院は、広島県厚生連が開設する3つの病院の1つです。県北部の安芸高田市に位置します。市内唯一の総合医療機関で、へき地医療拠点病院に指定されています。昭和18年54床で診療を開始しました。現在、14診療科で、病棟は、一般166床、精神120床、療養54床となっています。

併設されている老人保健施設のぞみは、広島県で第1号の老健施設(昭和63年開設)です。現在、入所定員60人、通所リハ定員30人で運営しています。

●職員のと定着と労働条件等  
療養病棟、老健のぞみ、ともに3交替の夜勤でした。8回夜勤が守られ、職員の受け止めも良好です。賃金は、医療技術職表が適用されています。看護職・介護職の連携・人間関係も良好で、離職は少ないそうです。

●多忙の中、取材に協力していただきました職場の皆様、有難うございました。

毎年、施設見学に来ています。ここでは介護職24名、看護職8名が働いており、フロアには、本日勤務のスタッフが写真つきで掲示されていました。病院と併設しており、職員の教育・研修、委員会活動も充実しています。

# 帰って来た 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。第69回は富山と高知にお願いしました。

富厚労から高岡病院支部手術室勤務の看護師 条谷 (ジウタニ) 享平さんを紹介し



富山 条谷享平さん

ます。いつも笑顔で豪快な食べっぷりが魅力的な条谷さんは、今年度青年部副部長を務めています。普段は手術室の男性看護師の仲間達と野球に打ち込んでいます。おしゃれな髪型にするのも得意技で、今回はゆるキャラ並みの癒し度満点の仕上がりで

す。持ち前の明るさで富厚労の青年部を引っ張ってくれることに期待しています!



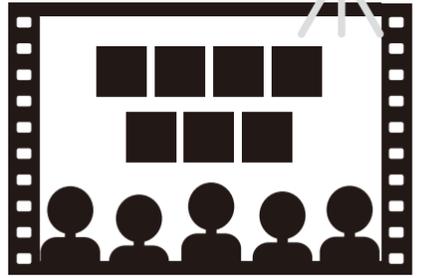
高知 福留亮太さん

全厚労青年委員のNEW FACE看護師の福留亮太さんを紹介し

ます。今年4月から高知JA病院手術室で「機械出し」に日々、奮闘されています。趣味はネギちゃん(み猫?)と戯れること、Beerが大好きなキリリとした眉の福留さん。周囲の印象は見かけによらずまじめ、頼られると「頑張ってみます!」

と、とっても前向きな彼です。明るい笑顔で周りを盛り上げてくれること“まちがいない”福留さんです。

## 映画紹介



事件の真相は「世界規模の被爆事件であった事」「日本全土に放射性物質が降りそそいだ事」「アメリカ政府との慰謝料として200万ドルで解決させられ、その後も水爆実験を繰り返し放射線に被曝している魚が、日本の食卓に上がりつづけた事」を、認識している日本人はどれくらいいるのでしょうか。

全厚労ニュースを愛読されている皆さんなら、1954年アメリカが行ったビキニ水爆実験で、第五福龍丸(乗組員23人)が被爆し、同年9月に無線長の久保山愛吉さんが死亡した事件は、ご存じだと思います。しかし、

ドキュメンタリー映画「放射線を浴びたX年後」は、高知県の高校教師・山下正寿さんと生徒たちが地道で詳細な調査を1983年から敢行、もうひとつのビキニ事件として南海放送のテレビクルーが8年にわた



マーシャル諸島の漁場へ向かう中、被曝した第二幸丸

る長期取材のなかで、これまであまり知られなかった実態を映画化し、3・11後のいま、私たちのX年後を思い起こさせます。過去の歴史では、国家を維持していく為に、真実が知らされ



ないまま、多くの国民が犠牲となつて来ました。この映画は、被爆した船員が何十年後に自らの病死と引き替えに、今、私たちに問いかけています...

これからの、上映情報  
11月24日〜12月7日  
京都府・京都市みなみ会館  
12月4日〜12月10日  
北海道・(札幌市) 蠍座

## 読者の声

「賃金・労働条件を良くして人材確保」という記事を読んで本当にそうしないと看護師の志願者が増えないと思

います。7対1にとらわれるばかりで満足に有給休暇も取れず、離職が進むのも無理ないなど思います。組合員として今年一年頑張つて行きたいなあと

(富山)

実際の休み返上でいい、上司もそれを望んでいるように見えます。長く働けるよう早く改善してくれると良いです。

(秋田)

毎月クロスワード楽しみにしています。今回初めてハガキを送ってみることにしました。私は手術室に勤務して

(北海道)

近の若い看護師はかわいくて賢くて、「きつと患者さんからも親しまれているのでしょ

(秋田)

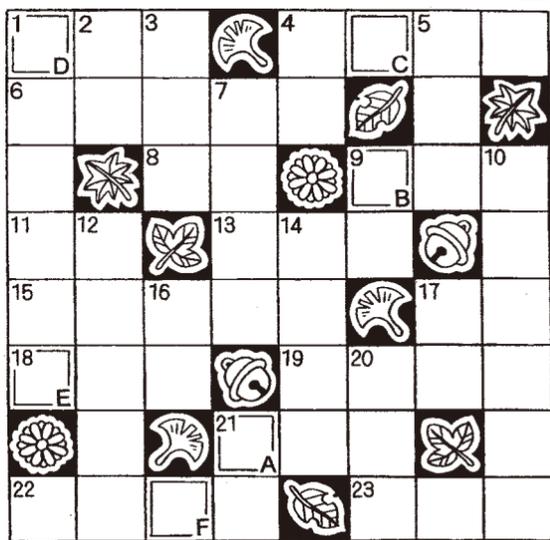
定期大会の記事を読みました。やはり勤務以外の委員会や研修・研究など、周囲を見ても負担たことも思っています。改善の方向にあるといつても

この人紹介のコーナーで同じ秋田の厚生連スタッフが紹介されていきました。「最近の若い子は...」の後は大抵否定的な言葉がつく者ですが「最

痛感しました!!」(北海道)

## ザ・クロスワード

出題●モロズミ勝



【問題】二重ワクの文字を、A〜Fの順に並べてできる言葉は、なに?

### タテのカギ

1 初冬の、春のように暖かい日  
2 名作『赤毛の...』  
3 短波受信機で海外の...  
4 海と陸を観光できることから人気の水...両用バス

5 和式と洋式があります  
6 ...正しい家柄  
7 5と7の間  
8 秋の日は...  
9 西部劇といえは...  
10 言論の自由を...する  
11 時計の長...、短...  
12 長十郎、二十世紀靴の...がすり減る  
13 ...系、理系

14 ユーカリの葉が好物  
15 11月7日。暦の上ではこの日から冬  
16 生煮え。...の卵  
17 兄弟・姉妹の息子  
18 酒に酔って...が回らない  
19 街の...運動  
20 衣...住  
21 人口的に飼育する。...真珠。...ウナギ  
22 秋冷の日は寄せ...、かき...もいね  
23 女の子が頭に飾ります  
24 海水が赤く見える現象  
25 品物の価格  
26 王様はキング、女王は...  
27 刃物を研ぐ石

当選者10名様に図書カードを差し上げます  
クロスワードパズルの答えと本紙の感想などを添えて下記あて先へお送りください。  
当選の結果は発送をもって代えさせていただきます。(9月号の答え:ミノリノアキ)